

協議（1）

特定教育・保育施設の利用定員の変更について

①認定こども園たいよう保育園

特定教育・保育施設の利用定員の変更について

認定こども園たいよう保育園から、令和7年度からの利用定員について、10名引き下げたい旨の協議書が提出されたことから、定員の変更について委員の意見を求めるもの。

1 変更施設（運営法人）

認定こども園たいよう保育園（社会福祉法人白鶴会）

2 変更内容

令和7年度からの利用定員を、10名引き下げるもの

現 行 110名（保育106名＋教育4名）

↓

令和7年度から 100名（保育96名＋教育4名）

3 現状

●金ヶ崎町内の待機児童の状況

令和6年4月1日時点 0人

令和7年2月1日時点 0人

●認定こども園たいよう保育園の入所状況について

（単位：人）

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
定 員	110	110	110	110	100
入所者 4/1 時点	107	104	97	95	90
〃 3/31 時点	112	106	102	99 (2/1 時点)	/

●0歳児の推移について

（単位：人）

第3期子ども子育て支援事業計画（子育て支援課提供）							
R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
86	92	88	85	84	82	81	79

4 変更後の見込み

●利用定員数の比較

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R6年度	13	13	18	16	23	23	106
R7年度	7	13	19	19	19	19	96
増減	△6	0	1	3	△4	△4	△10
R7年度 入所予定数	4	14	19	18	17	18	90

●定員区分の変更による保育基本分単価試算

負担割合 国 1/2・県 1/4・町 1/4

定員 101～110人	区分	基本分単価	人数 (R7.2.1時 点入所者)	計
4、5歳児	標準	38,960	38	1,480,480
	短時間	34,230	2	68,460
3歳児	標準	46,670	8	373,360
	短時間	41,940	6	251,640
1、2歳児	標準	109,270	16	1,748,320
	短時間	104,540	2	209,080
乳児	標準	186,460	6	1,118,760
	短時間	181,730	1	181,730
			①	5,431,830



定員 91～100人	区分	基本分単価	人数 (R7.2.1時 点入所者)	計
4、5歳児	標準	41,000	38	1,558,000
	短時間	35,800	2	71,600
3歳児	標準	48,710	8	389,680
	短時間	43,510	6	261,060
1、2歳児	標準	111,310	16	1,780,960
	短時間	106,110	2	212,220
乳児	標準	188,500	6	1,131,000
	短時間	183,300	1	183,300
			②	5,587,820

②－①155,990円×12月＝ 1,871,880円 年間増額見込み

●今後の園児数等の見込み

(各年4月1日時点、単位：人)

年度	町内の 子どもの数	幼稚園定員	保育園定員	幼稚園児数	保育園児数	入園児 計	子どもの数 に占める幼 稚園児割合	子どもの数 に占める保 育園児割合
令和6年度	599	210	515	60	433	493	10.02%	72.29%
令和7年度	580	150	485	58	420	478	10.00%	72.41%
令和8年度	567	150	485	56	410	466	9.88%	72.31%
令和9年度	556	150	485	55	402	457	9.89%	72.30%
令和10年度	544	150	485	54	393	447	9.93%	72.24%
令和11年度	533	150	485	52	385	437	9.76%	72.23%

5 町側の所見

出生数の減少が見込まれることから、今後利用定員を上回ることはないと予想されます。また、令和7年度入所選考会において、町内在住の待機児童は発生しておらず、たいよう保育園の定員が変更となった場合でも、保育希望者の受入は可能である見込みです。

以上から、定員変更はやむを得ないと考えます。